

1 山口県の交通事故発生状況 (令和6年5月31日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数	物損事故件数
令和6年	875	17	1,010	14,865
令和5年	939	15	1,125	14,650
増減数	-64	+2	-115	+215

* 令和6年中の発生件数、負傷者数、物損事故件数は概数

2 交通死亡事故の特徴 ~17件17人

年齢層別 高齢死者が13人で、前年の高齢者死者数と比較すると4人増加で、全死者の76.5%を占めている。

時間別 12時から14時の間に6人が亡くなられ、前年同時間帯と比較すると5人増加し、全死者の35.3%を占める。

事故類型別 横断中歩行者対車両で5人が亡くなられ、前年の同事故類型と比較すると1人増加している。

ドライバー年齢層別 65歳以上の運転手による事故が8人(75歳以上は6人)で、前年の65歳以上の運転手の死者数と比較すると3人増加(75歳以上は4人増加)し、全ドライバー事故(*)による死者の47.1%を占めている。

*ドライバー事故：第1当事者が原付以上の車両の運転により起きた事故

3 夏の交通事故防止



暑さによる集中力の低下に注意！こまめな休憩を！

夏場は、暑さによるストレスや疲れから安全意識や集中力が低下します。また、レジャーや帰省などで交通流が変化することから、交通事故の多発が予想されます。

ドライバーの方は、交通ルールの遵守の徹底に加え、長時間・長距離を運転される際は、こまめに休憩を取り、体調を万全にしてから運転しましょう。